

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 スタイライフ株式会社
 コード番号 3037 URL <http://www.stylife.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 真二

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中 研悟

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-5785-7001

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 3,933 | 19.6 | △117 | — | △124 | — | △84 | — |
| 22年3月期第2四半期 | 3,287 | 7.4 | △211 | — | △206 | — | 100 | 408.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | △4,264.59 | — |
| 22年3月期第2四半期 | 5,035.75 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|---|-------|------|--------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | | |
| 23年3月期第2四半期 | 4,853 | — | 2,240 | 46.2 | 円 銭 | 112,547.85 |
| 22年3月期 | 4,902 | — | 2,355 | 48.0 | 円 銭 | 118,315.83 |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,240百万円 22年3月期 2,355百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|----------|--------|---------------------|-----------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 1,250.00 | — | 1,250.00 | 2,500.00 |
| 23年3月期 | — | 500.00 | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | 500.00 ～2,000.00 | 1,000.00 ～2,500.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

※平成23年3月期期末配当につきましては、業績予想の進捗及び経営環境等を総合的に勘案し、配当額を決定させていただきます。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|-------|------------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | | |
| 通期 | 9,200 | 20.0 | 100 | — | 80 | — | 30 | △86.1 | 円 銭 | 1,507.01 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 20,407株 22年3月期 20,407株
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 500株 22年3月期 500株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 19,907株 22年3月期2Q 19,907株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 5 |
| 2. その他の情報 | 5 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 5 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 5 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 5 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報 | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 13 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）におけるわが国経済は、依然として厳しい雇用・所得情勢から個人消費が低迷しており、また、世界経済の減速や急激な円高傾向など、景気に対する先行き不透明感が払拭されない状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては中長期的な成長に向け、より多くのお客様にご支持いただけるよう諸施策の検討、実施を進めております。

ファッションコマース事業では、ファッション通販雑誌『大人Look!s』の発行回数を年2回から年4回に増刊し5月と8月に新たに発行したことに加え、ファッション通販雑誌『Look!s』の中国市場での展開を目指し、中国の人気ファッション誌「昕薇（中国版ViVi）」でのBook in Book通販企画を試験的に実施するなど、新たな収益機会の拡大に取り組みました。

また、ファッションECサイト『Stylife』において開設10周年記念キャンペーンとして、人気ブランドとのコラボレート商品の提供やホワイトリボン運動（開発途上国の妊産婦を中心に女性の命と健康を守る国際的なネットワーク）の支援にも取り組みました。

さらに、送料やポイント制度の見直しなどサービスの拡充を進めました。

コスメ事業におきましては、テレビCMなどプロモーション強化、新製品開発の促進、新基幹システムの導入を進めるなど、事業基盤の強化を進めてまいりました。

生活雑貨事業におきましては、新規取引先の獲得、物流体制の見直し、基幹システムの開発の促進など、事業基盤の強化を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、ファッションコマース事業において、ファッション通販雑誌『大人Look!s』を本年5月と8月に新たに発行（当連結会計年度より5月、8月、10月、2月の年4回発行、従来は10月と2月の年2回）し、収益機会を拡大したこと、さらに昨年9月1日にKDDI株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社と共同で設立したファッションECサイト『au one Brand Garden』が期初より業績に寄与いたしました。

また、コスメ事業においても前連結会計年度より注力しているプロモーション強化により、新規顧客の獲得が順調に進みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高39億33百万円（前年同期比19.6%増）、営業損失1億17百万円（前年同期は2億11百万円の損失、93百万円の改善）、経常損失1億24百万円（前年同期は2億6百万円の損失、81百万円の改善）、四半期純損失84百万円（前年同期は1億円の利益）となりました。

四半期純利益につきましては、前年同期には、特別利益及び法人税等調整額の計上など特殊要因が含まれております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[ファッションコマース事業]

ファッションコマース事業は、ファッション通販雑誌『Look!s』『大人Look!s』、ファッションECサイト『Stylife』（<http://www.stylife.co.jp/>）、『nuan+』（<http://www.nuan.gr.jp/>）、『OUTLET CHU:SE』（<http://chuse.jp/>）、モバイルECサイト『スタイライフ☆Look!s』の自社メディア及びKDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社との共同サイト『au one Brand Garden』等によるファッション関連アイテムの通信販売が主なものであります。

当第2四半期連結累計期間のファッションコマース事業につきましては、雑誌をメディアとするLook!s部門において『大人Look!s』を本年5月と8月に新規発行したことに加え、これまで、商品番号を入力し発注いただくだけの受注専用サイト『Look!s the net』を商品画像や商品説明などを確認しながら購入できるショッピングサイトとして強化するなど収益機会が拡大したこと、さらに、ネット部門において『au one Brand Garden』が期初から業績寄与したことなどにより増収となりました。

利益面では雑誌の発行回数の増加による製造原価の増加に加え、セール販売等による影響から粗利率が前年同期に比べ低下したこと、さらに、『au one Brand Garden』の運営等に伴うシステムに対する減価償却費が前年同期に比べ増加いたしました。売上規模の拡大により、前年同期に比べ改善いたしました。

以上の結果、売上高30億59百万円（前年同期比26.3%増）、営業損失1億22百万円（前年同期は2億27百万円の損失、1億5百万円の改善）となりました。

〔コスメ事業〕

コスメ事業は、㈱ハイマックスにおける化粧品販売等が主なものであります。

当第2四半期連結累計期間につきましては、女優の紺野美沙子さんを起用したテレビCMの放映などプロモーションを継続して強化しており、新規顧客の獲得が順調に推移したこと、さらに、スタイライフのECノウハウの投入等による自社ECサイト事業の拡大等により、増収増益となりました。

以上の結果、売上高5億5百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益5百万円（前年同期は28百万円の損失、33百万円の改善）となりました。

〔生活雑貨事業〕

生活雑貨事業は、ノーマディック㈱におけるバッグを中心とする生活雑貨の卸売が主なものであります。

当第2四半期連結累計期間につきましては、個人消費の低迷による影響を受け、既存卸先への売上が伸び悩む中、新規取引先の開拓やノーマディックオフィシャルECサイト（<http://www.ec-nomadic.com/>）をはじめとするEC事業の売上拡大に向け注力いたしました結果、売上は概ね計画どおり推移いたしました。

一方、利益面では、物流体制の見直しによる一時的な費用増加などにより減益となりました。

以上の結果、売上高3億56百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益1百万円（前年同期比95.3%減）となりました。

〔その他事業〕

その他事業は、他社の通信販売業務をサポートするフルフィルメント事業などが主なものであります。

当第2四半期連結累計期間につきましては、フルフィルメント事業の受託が減少いたしました。

以上の結果、売上高11百万円（前年同期比65.8%減）、営業損失2百万円（前年同期は9百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ155,991千円減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が235,513千円減少、受取手形及び売掛金が53,719千円減少、商品及び製品が192,633千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ106,977千円増加となりました。この主な要因は、無形固定資産が78,610千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ49,014千円減少し、4,853,404千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ135,372千円増加となりました。この主な要因は、買掛金が54,434千円増加、未払金が71,323千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ69,563千円減少となりました。この主な要因は、長期借入金が68,906千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ65,808千円増加し、2,612,914千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計期間末に比べ114,823千円減少となりました。

この主な要因は、四半期純損失84,895千円を計上し、24,883千円の配当を行ったことによるものであります。

この結果、純資産合計は、2,240,490千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末残高より235,527千円減少し、539,473千円（前年同四半期末残高は574,529千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、54,500千円の資金の減少（前年同四半期は91,908千円の資金の減少）となりました。これは主に、たな卸資産の増加208,765千円、未収入金の減少55,177千円、仕入債務の増加54,434千円、法人税等の還付41,410千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、75,520千円の資金の減少（前年同四半期は99,269千円の資金の減少）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出67,269千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、106,630千円の資金の減少（前年同四半期は113,234千円の資金の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出68,906千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間につきましては、『大人Look!s』の5月と8月発行、『au one Brand Garden』の通期業績寄与、さらに送料及びポイント制度の見直しによるサービスの拡充などによりファッションコマース事業において、売上の拡大と利益面での改善が進みました。さらに、コスメ事業におきましては、テレビCM等に女優の紺野美沙子さんを起用するなどプロモーションを一層強化し新規顧客の開拓を促進するなど、売上の拡大と利益の大幅改善、黒字化を達成した結果、前年同期に比べ売上増収、営業利益、経常利益改善が進みました。

当第3四半期以降につきましては、ファッションコマース事業において、株式会社バンダイナムコゲームスが展開しているモバイルECサイト『LOVE EX バーゲン』（2003年2月開設）を本年10月より同社と共同で運営することとし、これまで開拓しきれていなかった渋谷系カジュアルブランドを拡充し、より幅広いお客様からご支持を獲得してまいります。また、エイベックス通信放送株式会社と携帯電話向け動画配信サイト「BeeTV」において配信される番組「Topping Fashion Magazine」等と連動したショッピングサイトを運営することで業務提携し、本年11月からサービスを開始いたしました。さらに、スマートフォン向けに既存ECサイトを最適化し、提供してまいります。

以上の新たなメディアの開設やデバイスへの対応を行い、多彩なメディアを通じ、魅力ある商品をより多くのお客様にご提供し、収益機会の拡大を図ってまいります。

また、より一層魅力ある商品、付加価値の高いサービスの拡充に努め、お客様の“欲しい”にお応えし、新規顧客会員の獲得促進、既存顧客会員のリピート・アクティブ率の向上を図ってまいります。

コスメ事業につきましては、より付加価値の高い新製品「SOYS RICH」を開発、販売を開始するなど製品ラインアップを拡充するとともに、女優の紺野美沙子さん起用のTVCMなど多彩なプロモーション展開など、新規顧客の開拓を促進するとともに、リピート率の向上を図ってまいります。

生活雑貨事業につきましては、新規取引先の開拓を継続して強化するとともに、新規商品の企画開発力の強化、EC事業の規模拡大に取り組んでまいります。

以上、主要3事業において諸施策を着実に実施し、業績の向上を図ってまいります。

平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末の算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準適用指針第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 548,551 | 784,064 |
| 受取手形及び売掛金 | 921,604 | 975,323 |
| 商品及び製品 | 822,643 | 630,009 |
| 仕掛品 | 33,916 | 19,192 |
| 原材料及び貯蔵品 | 31,593 | 30,185 |
| その他 | 229,854 | 305,415 |
| 貸倒引当金 | △1,727 | △1,764 |
| 流動資産合計 | 2,586,436 | 2,742,427 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 213,703 | 213,775 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 381,223 | 394,120 |
| その他 | 557,778 | 466,270 |
| 無形固定資産合計 | 939,001 | 860,391 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 795,736 | 818,597 |
| その他 | 319,224 | 267,763 |
| 貸倒引当金 | △698 | △535 |
| 投資その他の資産合計 | 1,114,263 | 1,085,824 |
| 固定資産合計 | 2,266,968 | 2,159,991 |
| 資産合計 | 4,853,404 | 4,902,419 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 728,607 | 674,172 |
| 未払金 | 240,477 | 169,154 |
| 短期借入金 | 950,000 | 950,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 137,812 | 137,812 |
| 未払法人税等 | 14,418 | 9,275 |
| 賞与引当金 | 42,450 | 30,864 |
| 返品調整引当金 | 44,595 | 35,089 |
| 販売促進引当金 | 23,218 | 20,854 |
| その他 | 82,054 | 101,040 |
| 流動負債合計 | 2,263,635 | 2,128,262 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 223,284 | 292,190 |
| 退職給付引当金 | 29,790 | 31,726 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 17,333 |
| その他 | 96,204 | 77,593 |
| 固定負債合計 | 349,279 | 418,843 |
| 負債合計 | 2,612,914 | 2,547,105 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,456,775 | 1,456,775 |
| 資本剰余金 | 700,455 | 700,455 |
| 利益剰余金 | 140,813 | 250,592 |
| 自己株式 | △56,968 | △56,968 |
| 株主資本合計 | 2,241,076 | 2,350,855 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △586 | 4,457 |
| 評価・換算差額等合計 | △586 | 4,457 |
| 純資産合計 | 2,240,490 | 2,355,313 |
| 負債純資産合計 | 4,853,404 | 4,902,419 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 3,287,614 | 3,933,456 |
| 売上原価 | 1,973,797 | 2,425,640 |
| 売上総利益 | 1,313,817 | 1,507,816 |
| 返品調整引当金戻入額 | 27,220 | 35,089 |
| 返品調整引当金繰入額 | 30,791 | 44,595 |
| 差引売上総利益 | 1,310,245 | 1,498,310 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,521,571 | 1,616,159 |
| 営業損失(△) | △211,326 | △117,848 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,900 | 167 |
| 保険解約返戻金 | 6,603 | — |
| その他 | 6,676 | 4,073 |
| 営業外収益合計 | 16,180 | 4,240 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,133 | 8,694 |
| 株式交付費償却 | 508 | — |
| 持分法による投資損失 | 224 | 584 |
| その他 | 1,364 | 1,801 |
| 営業外費用合計 | 11,229 | 11,081 |
| 経常損失(△) | △206,375 | △124,689 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 461 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 148,968 | — |
| 特別利益合計 | 149,430 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 115 | 45 |
| 投資有価証券売却損 | 442 | 8,114 |
| 投資有価証券評価損 | — | 1,054 |
| 物流拠点移転費用 | 11,314 | — |
| 債権回収関連費用 | 12,231 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 668 |
| 特別損失合計 | 24,103 | 9,883 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △81,048 | △134,573 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 20,724 | 10,843 |
| 法人税等調整額 | △202,020 | △60,521 |
| 法人税等合計 | △181,295 | △49,677 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | — | △84,895 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 100,246 | △84,895 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失 (△) | △81,048 | △134,573 |
| 減価償却費 | 55,006 | 78,895 |
| のれん償却額 | 12,897 | 12,897 |
| 株式交付費償却 | 508 | — |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 224 | 584 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △288,322 | 125 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 231 | △1,936 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 1,549 | △17,333 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 9,761 | 11,586 |
| 販売促進引当金の増減額 | 3,225 | 2,364 |
| 返品調整引当金繰入額 | 30,791 | 44,595 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,930 | △198 |
| 為替差損益 (△は益) | △427 | △1,123 |
| 支払利息 | 9,133 | 8,694 |
| 長期前払費用の増減額 (△は増加) | △10,337 | △940 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △461 | — |
| 固定資産除却損 | 3,464 | 45 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | 442 | 8,114 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 1,054 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 159,474 | 18,629 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △3,473 | △208,765 |
| 破産更生債権等の増減額 (△は増加) | 418,534 | △162 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 26,799 | 55,177 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △18,845 | △8,169 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △23,226 | 54,434 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △348,374 | 6,639 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △5,044 | △16,385 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 357 | △8,521 |
| その他 | △4,398 | 12,463 |
| 小計 | △54,490 | △81,806 |
| 利息及び配当金の受取額 | 322 | 198 |
| 利息の支払額 | △9,196 | △8,736 |
| 法人税等の支払額 | △55,970 | △5,566 |
| 法人税等の還付額 | 27,426 | 41,410 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △91,908 | △54,500 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △9,062 | △9,077 |
| 定期預金の払戻による収入 | 9,037 | 9,062 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △18,881 | △13,260 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △110,794 | △67,269 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,109 | 483 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 12,312 | 4,605 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △466 | △64 |
| その他 | 17,475 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △99,269 | △75,520 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 100,000 | — |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △56,666 | △68,906 |
| 配当金の支払額 | △21,699 | △24,883 |
| リース債務の返済による支出 | △8,400 | △12,841 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 113,234 | △106,630 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 427 | 1,123 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △77,516 | △235,527 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 652,046 | 775,001 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 574,529 | 539,473 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

| | ファッション コマース事業 (千円) | コスメ事業 (千円) | 生活雑貨事業 (千円) | その他事業 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|--------------------------|---------------|----------------|---------------|-----------|--------------------|------------|
| I 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 1,219,546 | 241,849 | 152,168 | 19,105 | 1,632,668 | — | 1,632,668 |
| (2)セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | 1,005 | — | 4,037 | 5,042 | (5,042) | — |
| 計 | 1,219,546 | 242,854 | 152,168 | 23,142 | 1,637,711 | (5,042) | 1,632,668 |
| 営業利益又は損失(△) | △146,934 | △4,811 | 13,008 | 9,264 | △129,472 | — | △129,472 |

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

| | ファッション コマース事業 (千円) | コスメ事業 (千円) | 生活雑貨事業 (千円) | その他事業 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|--------------------------|---------------|----------------|---------------|-----------|--------------------|------------|
| I 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 2,422,277 | 463,273 | 368,493 | 33,570 | 3,287,614 | — | 3,287,614 |
| (2)セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | 1,401 | — | 5,247 | 6,648 | (6,648) | — |
| 計 | 2,422,277 | 464,674 | 368,493 | 38,818 | 3,294,263 | (6,648) | 3,287,614 |
| 営業利益又は損失(△) | △227,813 | △28,374 | 35,023 | 9,837 | △211,326 | — | △211,326 |

注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

ファッションコマース事業

通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」等、インターネットショッピングサイト「Stylife」

「nuan+」「OUTLET CHU:SE」等、及びモバイルショッピングサイト「スタイライフ☆Look!s」等による衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業。

コスメ事業

コスメ商品の企画・製造・販売事業。

生活雑貨事業

バッグを中心とした生活雑貨の企画・製造・販売事業。

その他事業

通販支援事業等。

3. 「消去又は全社」では、セグメント間の内部取引に関して、相殺消去を行なっております。

[セグメント情報]

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報は入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品・サービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業活動を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ファッションコマース事業」「コスメ事業」「生活雑貨事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ファッションコマース事業」は、通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」等、インターネットショッピングサイト「Stylife」「nuan+」「OUTLET CHU:SE」等、及びモバイルショッピングサイト「スタイライフ☆Look!s」「au one Brand Garden」による衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業を行っております。「コスメ事業」は主に㈱ハイマックスにおいてコスメ商品の企画・製造・販売事業を行っております。「生活雑貨事業」は主にノーマディック㈱においてバッグを中心とした生活雑貨の企画・製造・販売事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|---------|---------|-----------|-------------|-----------|------|-----------------------|
| | ファッションコマース事業 | コスメ事業 | 生活雑貨事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 3,059,322 | 505,901 | 356,744 | 3,921,968 | 11,488 | 3,933,456 | — | 3,933,456 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 76 | 59 | 135 | — | 135 | △135 | — |
| 計 | 3,059,322 | 505,977 | 356,803 | 3,922,103 | 11,488 | 3,933,592 | △135 | 3,933,456 |
| セグメント利益又は損失(△) | △122,471 | 5,159 | 1,656 | △115,655 | △2,193 | △117,848 | — | △117,848 |

当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|---------|---------|-----------|-------------|-----------|-----|-----------------------|
| | ファッションコマース事業 | コスメ事業 | 生活雑貨事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 1,486,564 | 255,743 | 167,707 | 1,910,015 | 5,775 | 1,915,791 | — | 1,915,791 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 19 | 59 | 78 | — | 78 | △78 | — |
| 計 | 1,486,564 | 255,762 | 167,767 | 1,910,015 | 5,775 | 1,915,870 | △78 | 1,915,791 |
| セグメント利益又は損失(△) | △74,079 | 12,568 | △3,105 | △64,616 | △1,093 | △65,710 | — | △65,710 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通販支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。